

# 給食食材費等の高騰対策について

報告 番号	4	資料 番号	1
学校教育課・こども未来課			

食材費等の高騰の影響を受ける小・中学校や公立保育園、私立保育園等の給食について、栄養バランスや質を保った給食の提供ができるよう対応します。子育て世帯への経済的負担が増加しないよう支援するため、保護者負担額を据え置き、市からの補助金額を増額するための補正予算をお願いするものです。

## 1. 小・中学校等 学校給食食材費高騰対策給食費補助金 6,330千円

小・中学校等の給食費については、今年度、児童生徒1食当たり20円に補助額を引き上げ、さらに**10月からは、補助額を26円へと段階的に引き上げてまいりました（既決予算内で先行対応）**が、現在も物価高騰は続いており、献立や仕入れの工夫だけでは1食単価内に収めきれなくなっている状況です。このため、**令和6年1月から補助金額を26円から35円へと更に引き上げます。**

【10月～12月の補助額増 20円 ⇒ 26円】  $6円 \times 6,300人 \times 55食 = 2,079,000円 \approx 2,080,000円$   
【1月～3月の補助額増 20円 ⇒ 35円】  $15円 \times 6,300人 \times 45食 = 4,252,500円 \approx 4,250,000円$

## 2. 私立保育園 給食食材費高騰対策給食費補助金 1,600千円

## 3. 私立こども園 給食食材費高騰対策給食費補助金 2,300千円

今年度、園児一人当たり月額400円（1食当たり20円相当分）に補助額を引き上げましたが、現在、給食食材費等は昨年比115%程度で推移していることから、月額400円（1食当たり20円）の補助があってもなお275円（1食当たり13.75円）不足する試算となります。今後の更なる食材費等の高騰に対応するため、物価指数と直近の食材費上昇率を参考にして、**令和5年4月に遡って補助上限金額を月額400円（1食当たり20円）から700円（1食当たり35円）に引き上げます。**

【私立保育園 月額400円 ⇒ 月額700円】  $月額300円 \times 450人 \times 12月 = 1,620,000円 \approx 1,600,000円$   
【私立こども園 月額400円 ⇒ 月額700円】  $月額300円 \times 650人 \times 12月 = 2,340,000円 \approx 2,300,000円$

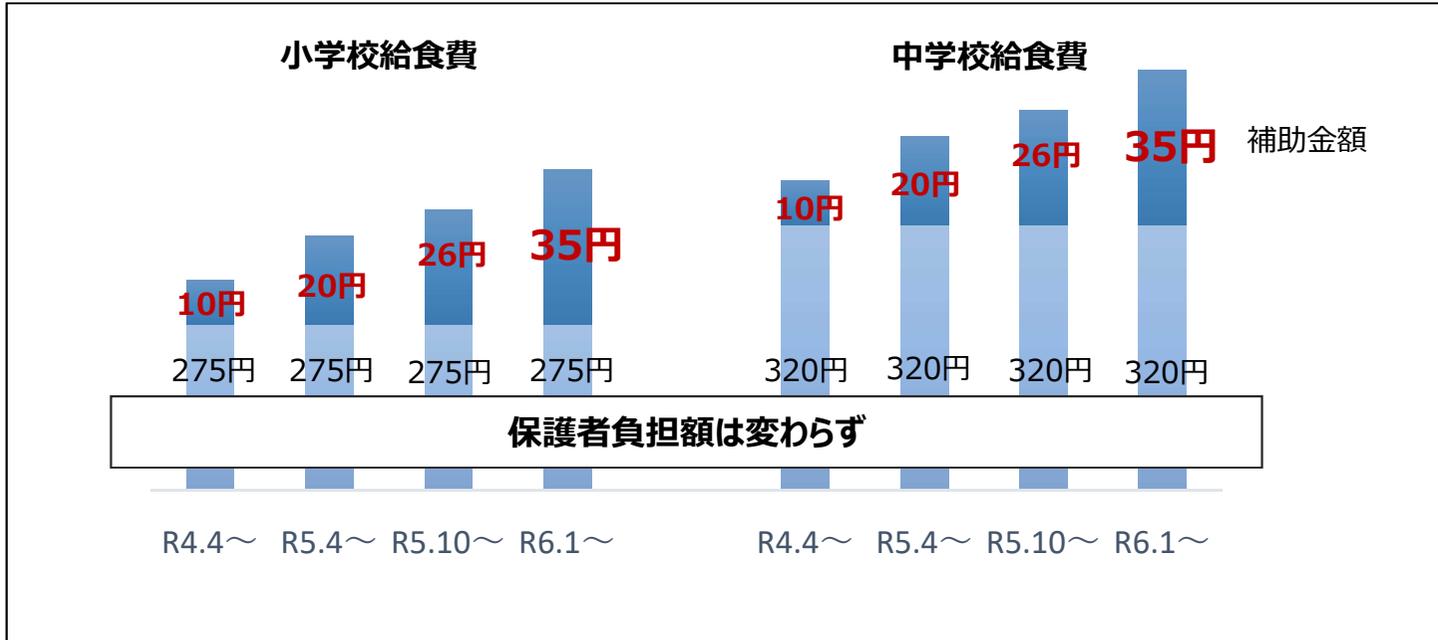
## 4. 公立保育園等 給食材料費 1,500千円

今年度、月額400円（1食当たり20円相当分）の食材費高騰を見込んだ当初予算により、現時点での不足はありません。しかし、食材費等の高騰が今後も続く場合、不足する可能性があるため、私立園の対応に準じて、**令和6年1月から食材費高騰対応経費を20円から35円に引き上げます。**

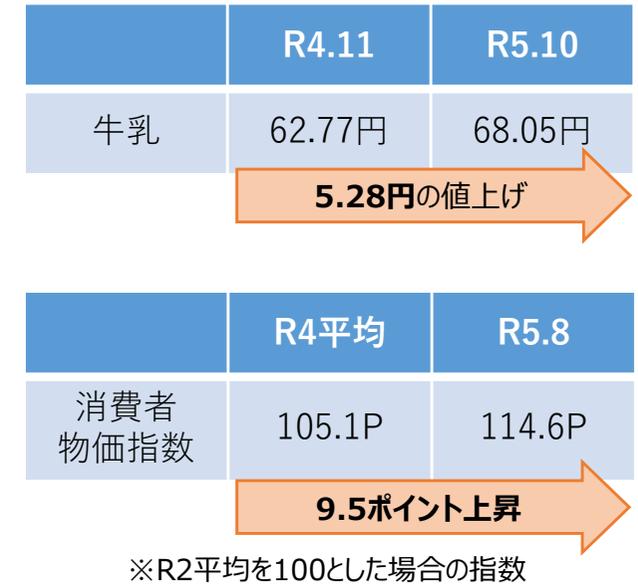
【1月～3月の補助額増 一食20円 ⇒ 一食35円】  $15円 \times 1,744人 \times 56食 = 1,464,960円 \approx 1,500,000円$

# 給食食材費等の高騰対策について

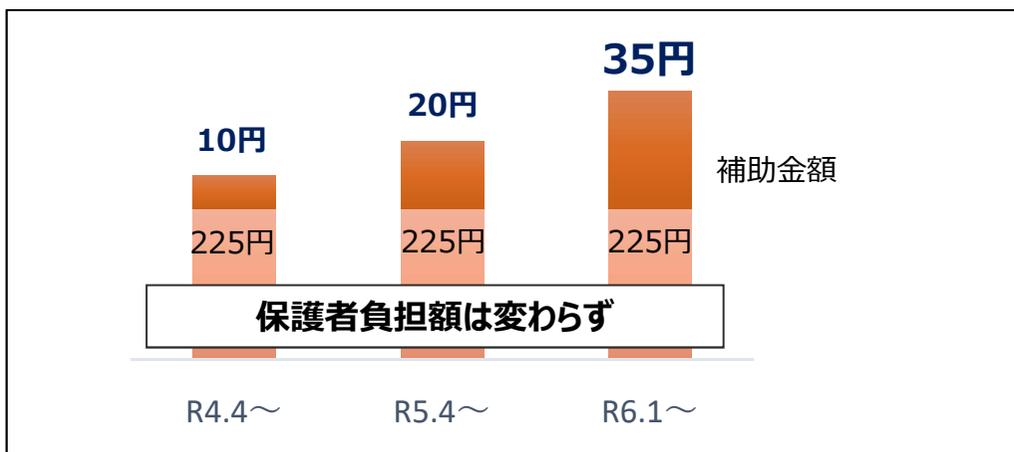
## 5. 学校給食における1食単価のイメージ



## 6. 食材の価格上昇の状況



## 7. 公立保育園等における1食単価のイメージ



## 8. 私立保育園・こども園における1食単価のイメージ

